



8/21 (日)
14 時上映
13 時 30 分開場

虹のしっぽ 民映研 記録映画上映会⑥

『うつわ～食器の文化』

入場料 1,000 円 (学生 : 500 円) 定員 20 名 (要予約)

★ほっぺたやき、チーズケーキ、ドリンクを販売します。ぜひご利用ください。



© 民族文化映像研究所

1975 年 / 41 分 近畿日本ツーリスト 日本観光文化研究所 委嘱 撮影地 / 全国 26 か所

音楽 : 林光 声 (一部解説) : 宮本常一 ナレーション : 糸博

【作品解説】

わたしたちの身のまわりには、長い歴史の流れを受け継ぎながら、今に生きている生活文化がある。日本的なうつわ (食器) もそうである。その源流と展開を日本全域に訪れた。

縄文時代の遺跡からは、大型の土器とともに、今日の椀や皿の源流というべき小型の土器が出土している。続いて展開する弥生土器、須恵器などの土の系統。

並行して、木の系統を訪ねる。与那国島ではクバの葉を鍋に、アイヌは樺の皮を器にする。縄文時代にすでに現れている木器と漆。そして木の器を飛躍的に進歩させた技術の系譜を受け継ぐ人々との出会い。奈良時代に登場したといわれる手引きロクロを伝える木地師 (きじし)。漆かき。輪島の塗師 (ぬし) など。

土と木の器は独自に歩みつつ、互いに深くかわり合い、今日へ展開してきた。それらを巧みに組み合わせ、日本人は多彩な食器の文化を育んだ。瀬戸内海の塩田経営者の家にある食器群、土佐の皿鉢 (さわち) 料理、会津若松の食器市などを訪ね、それらを生みだしてきた日本列島の豊かな草木、水、土、そして日本人の生活技術に思いをはせる。

民映研 (民族文化映像研究所) : 日本の基層文化を記録・研究する事を目指して出発した民間の研究所です。長い歴史の中で培われた自然との深い対応と共生の姿を「基層文化」と捉え、日本列島を基軸に人々の生活行為を見つめることにより、それを明らかにしようとしてきました。40 年以上の活動から、生活の知恵を記録した 119 本の映画作品と 150 本余りのビデオ作品が生まれています。

☆検温・記帳・マスク着用・消毒など感染対策を実施いたしますのでご協力をお願いします。当日体調のすぐれない方はご遠慮ください。

虹のしっぽでは、今後も民映研の記録映画を不定期に上映していく予定です。未来へのヒントを一緒に探しましょう！

ご予約・お問い合わせ 虹のしっぽ 札幌市南区藤舞 4 条 3-4-25

tel&fax 011-206-0804 mail:mokele@rr.iij4u.or.jp

http://www.mokelembembe.net/

駐車場 : 8 台あり

バス : ◎札幌駅「バスターミナル中レーン 12 番のりば」… 定山溪・豊平峡温泉行または豊滝行 乗車 60 分「東藤舞」下車徒歩 5 分

◎真駒内駅「バスターミナル 4 番のりば」… 定山溪・豊平峡温泉行または豊滝行 乗車 30 分「東藤舞」下車徒歩 5 分

